

(問1) 都市計画路 3・2・2 について

都市計画路 3・2・2 の今後の整備予定と、その他の計画道路の整備予定について詳しく教えてください。

都市整備部 道路建設課

《回答》

※図面参照・「都市計画道路 3・2・2 号内環状線整備状況」

都市計画道路 3・2・2 号内環状線は図面にあるように桑原地区の国道 7 号バイパスから浜館地区、浜田地区、三内地区を経由してフェリー埠頭に至る全長 12km、幅員が 30m の都市計画道路です。青森市都市計画マスタープランに於いては、市の頭角を担う重要な環状道路として位置付けられています。3・2・2 号内環状線全体の進捗率は、青線が整備済み、赤線が整備中、黄線が未整備となっています。路線全体の進捗率は、整備済み区間が約 60%、整備中区間が約 10%、未着手の部分は約 30%となっています。現在整備中の区間は、浜田工区と桑原工区の 2 工区があり、浜田工区はサンワドー青森中央店～浜田小南側～県路・青森浪岡線の見性寺付近までの 620m の区間で、桑原工区は自由ヶ丘の赤川にぶつかる行止まりの部分からバイパス（田んぼに盛土になっている部分）までの約 500m の区間です。浜田工区の事業進捗率は平成 29 年度末で約 41%となっています。今年度は、用地買収を進めると共に、浜田小学校の南口の部分が通学路の点検をした際に危険だと判断された為、一部（約 80m）の道路を整備し歩道のみ挙用している状態です。車道部については、歩道の整備と共に整備しましたが、保安委員会と協議した結果、住宅街に自動車が通ると危ない状況になると判断された為、全線車道が完成した際に挙用して欲しいとの事です。

今後、引き続き用地買収を進めていき、平成 35 年度の完成を目指して整備を進めています。ただし昨今、道路事業を取り巻く環境が非常に厳しくなっており、国からの補助金が要望の 2 割程度しか交付されない為、平成 35 年度完成の目標は厳しい状況になっています。

桑原工区については、平成 29 年度末の事業進捗率は約 35%となっています。今年度は、測量・設計・調査業務を進めています。来年度以降は、設計を基に道路改良工事を進めていき、平成 35 年度の完成を目指しています。

※図面参照「平成 29 年度 街路・道路事業施工箇所図」

その他の整備されている都市計画道路に、油川地区の 3・4・16 号油川新城環状線（図面・赤点線①） があります。この工事は、JR 津軽線の下をくぐる地殻化の工事で、莫大な費用がかかる事から事業を最小化する際に委員会から指摘を受け、線路までの車道を整備し、現在休止しています。

3・2・2 内環状線以外の都市計画道路について 図面参照・緑線①②③

3・4・2 号西滝新城線（緑線①）、3・4・3 号蜷貝八重田線（緑線②）、3・5・4 号堤町通り浜田線（緑線③）、の 3 つは、市から県へ事業費の 10% の負担金を支払い、県による整備を行っています。3・4・2 号西滝新城線は、マツダドライビングスクール～ファッションセンターしまむら新城店付近まで、延長約 1,300m、幅員約 18m の整備を行っており、平成 31 年度の完成を目指しています。3・4・3 号蜷貝八重田線は、筒井橋の架け替えが終わり、古い橋の撤去が完了しました。仮橋に備え付けている取り付け部分の撤去が残っていますが、今年度中の完成を目指しています。3・5・4 号堤町通り浜田線は、藤聖母園付近～青い森鉄道高架付近まで、延長約 490m、幅員約 15m の整備を行っています。主に溶媒を行っており、平成 32 年度の完成を目指していますが、多少遅れている状況です。

市では、現在整備している事業の進捗を図っていきながら、県事業についても早期完成を擁護していきたいと考えています。その他の未着手の新規路線につきましては、現在整備中の路線に完了の目途がついた時点で検討する事としています。